

2022年

3月

ほけんだより

中宮まぶね保育園

3月3日は
耳の日



耳は、「音を聞くこと」と「体のバランスをとること」の2つの働きをしています。毎日の生活の中で耳は大切な役目を果たしていますが、他の器官に比べて病気になっても気がつきにくい部分でもあります。年齢が低いほど、症状があってもうまく伝えられない場合が多く、周囲の大人が日頃から注意しておく必要があります。

どうして中耳炎になるのか？

鼻水が出たり、扁桃腺が腫れたりすると鼻の奥から耳管を通して、ウイルスや細菌が中耳に入ることによって中耳炎になります。

*子どもの耳管は、大人に比べて太く、短く、水平なので、ばい菌が鼻の奥から中耳に入りやすく、中耳炎をおこしやすい。

耳の聞こえについて、気付きポイント

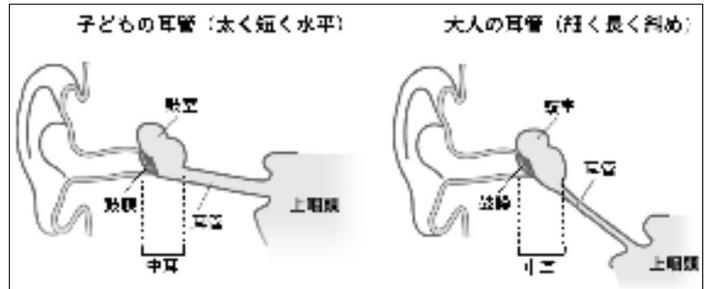
◎乳児期

- 大きな物音や騒音に驚いたり不快感を示さない。
- 人の声（特に小声やささやく声）に反応しない。
- 音の出るおもちゃに反応しない。など

◎幼児期

- 話声が大きい
- テレビの音を大きくする。
- 普通に話をしているのに何度も聞き返す。
- 不明瞭な発音、言葉の遅れ。
- 面と向かって話していると通じるが、後ろから声をかけると返事をしない。など

このような症状がみられたら、耳鼻科の先生に相談しましょう！



鼻をかむときに両方一度に強くかむと鼻の奥の圧力が高くなり、鼻と耳をつなぐ管から細菌やウイルスが中耳に入り、中耳炎になったり、あるいは鼓膜が破れることもあります。

正しい鼻のかみ方

1. 片方ずつかむ

片方の鼻をきちんと押さえるようにします。

2. 鼻をかむ時には、口から息を吸う

鼻を押し出すために、空気をたっぷり取り入れます。

3. ゆっくり小刻みにかむ

あわてず、あせらず、少しずつ、確実にかむことが大切です。

4. 強くかみすぎない

かみにくいときも、一度に力を入れず、少しずつかむようにします。



2月に報告があった感染症

溶連菌感染症 1名